

科目ナンバリング：UTL-2-311-08

■授業の目的及び到達目標

進路指導は、「生き方在り方指導」を要とした長期的展望に立った人間形成を目指す教育活動であり、それを包含するキャリア教育では、社会的・職業的自立に必要な資質・能力を育むことを目的としている。こうした視点から、授業改善や体験活動、評価改善の推進やガイダンス、カウンセリングの充実などの意義を理解し、進路指導計画案の作成などの実践を通じて、学校内外の組織体制に必要な知識や素養を身に付けるのが本講義の目的である。さらには、現役教員と遜色のない教育的実践力の修得を到達目標とする。

■授業計画

- 1 進路指導の意義と基本理念
学校教育の目的と社会的意義、一般原理、子供や学校をめぐる課題、法的根拠について理解する。
- 2 進路指導の歴史
アメリカの職業指導・進路指導・キャリア教育の歴史的発展を展望し、我が国の進路指導への影響を考察する。
- 3 日本における進路指導の歴史と発展
我が国の進路指導の歴史を学習指導要領に即して社会の変化と関係付けつつ、教育課程における進路指導・キャリア教育の意義や原理を理解し、そこに至る位置づけを概観する。
- 4 進路指導からキャリア教育へ
キャリア教育の必要性とキャリア発達に関わる4つの領域8能力に触れつつ「勤労観・職業観を育成するキャリア教育」の重要性について理解する。
- 5 進路指導の組織と体制 1
生徒の発達段階を考慮し、学校の教育活動全体で組織的・計画的に進路指導を展開するための法的根拠、学習指導要領の位置づけやキャリア教育などについて理解する。
- 6 進路指導の組織と体制 2
進路指導に必要な興味、知識、態度の育成、そして最も重要とされる生徒の自己理解の育成に向け、学校全体で組織的・計画的に指導することの意義と教員の役割について理解する。
- 7 進路指導の組織と体制 3
生徒に「進路選択力・進路決定力」を身に付けさせるために、教員の生徒理解に関する具体的な方法並びに教職員の共通理解の必要性と進路指導主事の役割について理解する。
- 8 進路指導計画の作成
適切な「進路選択力・進路決定力」と「勤労観・職業観」を育成するキャリア教育の充実を図るためには、中・高等学校それぞれ3年間を見通した進路指導計画の重要性について理解する。
- 9 進路指導における体験活動の実践 1
中学校で実施されている職場体験活動のビデオ視聴を通して、生徒が体験から学ぶ意義や「勤労観・職業観」の育成の必要性について考察する。
- 10 進路指導における体験活動の実践 2
進路指導の一環として実施される高等学校でのインターンシップの考え方や実施計画の立て方について理解を深めるとともに、青年期(高等学校)に育成する資質・能力とキャリア教育について理解する。
- 11 進路指導における今日的課題
小1プロブレムと中1ギャップ等の学校不適応の課題と進路指導の在り方を概観する。キャリア教育の視点から、具体的な資料をもとに不登校と中途退学の実態を例示し、学校内の組織的な指導体制及び家庭、関係諸機関との連携の在り方を考察する。さらに、フリーターとニートの実際に触れつつ、学校教育と関係諸機関との連携の在り方、及び学校教育の場における進路指導の在り方について考える。
- 12 キャリア・カウンセリングの理論・技法とその活用
キャリア・カウンセリングの機能や特徴、必要性、実際の場面での活用方法、実施上の留意点をはじめ、学級担任・カウンセラーの役割について理解する。
- 13 キャリア・カウンセリングの実際
進エンカウンターやロールプレイを通して、コミュニケーション力や傾聴すること、相手に応じたアドバイスなどの方法について実際に体験することを通して自己を振り返る。
- 14 進路指導の評価と活用
進路指導における評価の本質、対象と内容、方法について理解する。
- 15 授業のまとめと試験
前半の60分で試験を実施する。後半の30分で試験内容の事後解説と進路指導の意義について考える。

■授業の方法

授業計画のテーマに沿って、講義形式で展開するが、資料等を活用しながらビデオ視聴、ロールプレイ等の演習、対話形式当を通して、講義内容を深め発展的な展開を図るために簡単なレポートを作成したりする。また、キャリアプランニング・進路指導計画案については全員が作成し提出する。

■予習・復習

予習:講義内容に応じて学習指導要領等を一読し、講義時の内容理解の一助とする。

復習:講義の内容毎にワークシートへの記入や課題レポートの作成・提出を行う。

■成績評価の方法（成績の評定方法、授業態度、レポート等の扱い）

定期試験60%、課題への取組、レポートの提出、授業の状況等40%の割合で総合的に評価する。課題やレポートへの配点が高いので留意したい。

■教科書・参考書

教科書は特に定めない。参考書としては次の書物を準備すること。

教職シリーズ7「進路指導」新井国次郎編 培風館

「中学校学習指導要領」（平成29年告示）、「高等学校学習指導要領」（平成30年告示）、「中学校・高等学校キャリア教育の手引き」文部科学省

■関連する科目

教育・発達心理学、教育社会学、特別活動論、道德教育指導論、職業指導、教育相談（カウンセリングを含む）

■当該科目の実務経験（該当する場合のみ記載）

担当教員は、東京都公立中学校や教育委員会に36年間勤務し、進路指導に関する研究実績を積んできており、それを本科目の指導に活かしていく。